の他の中間層から起つて来るのだから、結局資本家の支持物とならざるを得ぬ必然性をもつてゐるのだ。流行を追つてファッショ団体は次から次へと飛出した。日本国家社會党・新日本国民同盟・愛国青年同盟・青年日本同盟・等々から明倫会・猶存会・大化会・全鶏会・産業組合青年部等々数十をもつて数へる団体が結成された。だが流行を追つて飛出したものはそれぐ没落しつゝある。

既成ファッショは大して恐るゝに足らぬ。だが本物のスマート強力なファッショが今や起りつゝある。農村に於ては産業組合・青訓・在郷軍人等々の動きが注目される。ファッショは意識のおくれた農民を第一にねらつてゐる。農民は彼等にだまされ易い。我々は日常斗争を通じて、彼等の本質をバクロし、教育運動と相俟つて、ファッショを芽の中に踏みにじらなければならぬ。更に又、常に農民大衆の先頭に立つて斗ふ事によつて、ファッショより先に、彼等に食ものにされる未組織農民を、我々の陣営に獲得しなければならぬ。

口にファッショ反対を唱へる事は易い。だが実践は困難だ。然し如何に困難であつても、ファッショ粉砕は全農に課せられた重大なる任務だ。我々はプロレタリアートと提携して此の運動を進めてゆく。

三、[redacted]

二、組織方針

一、未組織農民の獲得と衰退支部再建

我々の陣営に組織された農民は極めて少ない。農村の情勢は成熟してゐる。而もファッショは農民を第一の食物にすべく、その魔手をのばして来てゐる。今こそ未組織農民が組織されなければならぬ。この未組織獲得の為には、単に小作争議丈でなく先に一般斗争方針で述べた如く、我々の生活に関係あるあらゆる斗争題目が常に斗はれこれに彼等を引き入れて行かねばならぬ。未組織農民は全農が食はずぎらいなのだ。斯様な食はずぎらいの者を組織するためには常に我々は先頭に立つて斗はねばならぬ。こうして行つてこそ全農が力をもつた存在になつて来るのだ。

更に衰退支部の再建がある。今年は五つの衰退支部を再建したが、更に多数再建されなければならぬ。此の組織の拡大強化について本部は目標地帯に近接する支部と連絡をとつてニュース等の持ち込みに努めて彼等に全農の斗争を知らしむるように食い入らなければならぬ。

二、全農の大衆化

我等の組織は貧農を中心にする。貧農については色々の解釈が現在迄行はれた。我々は貧農を戦略的見地から土地斗争を持つもの即ち小作農又は小作兼自作農と見る。だが組合は貧農だけにとゞまつたら一般大衆から孤立することは決つてゐる。だから多くの支部で組合は二